

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくyell		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 14日		R7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R7年 2月 14日		R7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者負担や計画など開始前に説明を行い、了承を得たうえで支援を開始している	利用開始前には必ず見学をしていただき、事業所に対応できることとそうでないことの説明を行う。そして、問診、支援内容の説明を行った後に利用開始している。医療度の高いご利用者に対しては訪問看護などの支援も促している。	継続して支援。利用前にニーズの把握と支援内容の検討と共有を図っていく。
2	家庭での困りごとや悩みや制度についての相談を受けることもある。時間を設け相談に応じている。必要に応じて似たような悩みを持つ保護者の方とやりとりできるよう声掛け促すこともある。	状況に応じて家庭訪問している。介助方法や支援方法も自宅訪問し直接指導することもある。	定期的な家庭訪問で状況確認。その他事業所との連携。
3	児が過ごす環境面は清潔に保っている。体調不良者などが出た場合は隔離し対応している。	衛生面に注意し支援を行っている。	感染対策を図り環境調整を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムが不十分。活動を実施していてもその様子を伝えられていないこともある。	活動実施内容や様子のお伝えが十分ではない。	定期的に活動計画を立て計画通りに実施していく。実施した活動内容の報告を保護者へお伝えしていく。
2	職員が少ないと感じさせてしまうことがある。	定員に対して基準上必要な職員配置は行っている。時折、利用者の重症度に応じた配置ができていない場合がある。	ご利用者の状態を考慮し、適宜調節的に職員の配置を行う。
3	作成しているマニュアルや研修、訓練の実施状況を保護者の方や外部にむけて発信することができていない。	ご家族や外部の方に向けての発信ができていない。	保護者交流会に実際の取り組みの報告も行っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すくすくyell

2025 年 3 月 21

公表日 日

利用児童数

2025 年 3 月 7 日

回収数

10

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	70%	20%	10%	0%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	40%	20%	40%	0%	以前、職員が少なく感じたことが何回かある	適正な人員配置下で支援をしています。ご利用者の状態に応じて職員配置を調整しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	60%	30%	0%	10%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	80%	20%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50%	20%	0%	0%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	60%	20%	0%	20%	確認できていない	公表予定となっております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	70%	30%	0%	0%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	80%	10%	0%	10%		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	67%	11%	0%	22%	摂食やリハビリなど取り組んでもらっている	ニーズに応じて目標を設定し、個々に応じた支援を継続いたします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40%	20%	10%	30%	月ごとに活動内容を変えている	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10%	0%	40%	50%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	80%	20%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%	10%	0%	10%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	60%	20%	10%	10%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50%	40%	10%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	60%	30%	0%	10%	あまり話をしない職員さんもいるため、その日本人に関わった方から話を聞きたりと思う	関わらせていただいた職員より対応いたします。対応できない場合など申し送りや連絡帳にてお伝えいたします。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	60%	10%	10%	20%	きょうだい同士の交流はない きょうだいも参加できるイベントが増え てほしいです	今年度はクリスマスコンサートや社会科見学の実施なども行いました。ご家族も一緒に参加できる取り組みを今後も検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	0%	0%	10%	時間の延長など、融通をきいてもらっている	現在一時預かり事業も開始しています。ご家族のニーズに適宜応じ対応いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	60%	30%	0%	10%	親側がバタバタしているため、職員とゆっくり話ができていない	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40%	20%	0%	40%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	60%	20%	10%	10%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%	0%	0%	50%	保護者会で防災について下さったので、知識を得られた一部共有できていないものもありますが、概ね大丈夫です	保護者交流会にてマニュアル等を見ていただく機会を設けていきたいと思えます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%	0%	0%	50%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50%	0%	0%	50%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40%	10%	10%	40%	手に傷があった際、発生場所・原因が分からないと言われた	注意深く見ていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	70%	10%	0%	20%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	50%	20%	10%	20%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	50%	40%	10%	0%	季節のイベントがなくなってしまったのが残念	四季に応じた活動を実施し、ご家族へもその報告を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すくすくyell				公表日	2025年3月21日
		チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	児発：年齢や発達の程度に合わせたスペースの確保の工夫	パーテーションやサークルの設置にて安全に支援できる環境を設定する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	呼吸器・注入児・医ケア処置の有無で安全確保がギリギリということもあった 送迎等で一時的に職員配置数が減少あるが対応できている 日によって職員の人数が少ない時がある	適正人員配置を守りながら、利用状況に応じて（呼吸器の児・者）が多い場合は看護師を多く配置するなどの対応を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	安全に過ごしていただくために、最低限の柵等の必要性を感じる（行動制限ではなく安全回避の視点で設置）	パーテーションやサークルの設置にて安全に支援できる環境を設定する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	動ける児に対しても行動制限することがある、受け入れるなら対策の必要性を感じる（たとえひとりであっても…） 区切りがないので、全フロアに行けるようになっている	パーテーションやサークルの設置にて安全に支援できる環境を設定する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	KPTの実施 情報共有が十分でない 週1でKPTをしていて、業務改善を行っている 定期的にアンケートをしている	情報共有が不十分なこともあるため、情報共有の手段の周知を行い、情報が浸透するようにしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	年数回面談をしてくれ、意見を聞いてくれる	定期面談にて状況確認を行っていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	災害時の対応など第三者の意見で工夫している	今後、災害の取り組みに対して外部の方にも入っていただき訓練等を実施していくことを検討している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全社員向けの研修が年に何回かある 毎週金曜日に研修などがある		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	67%	33%		203年度まではHPIに公表。2024年度は公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	モニタリング、アセスメントシートの記入活用		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%	今後会議で行う	今後支援会議にて密な情報共有ができるようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	発達途中にある児であり医療的ケアも必要であり、アセスメントが難しいが多職種で評価するよう努めていると思う	医療機器を用いた身体評価で普段の様子の変化を注意深く見ている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	活動内容は児童支援員が決めている	児童指導員が主となり活動を決め実施している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	重心児が多くできることが限られる中、工夫していると思う 月ごとに活動内容を変えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	集団が十分でない	集団を意識した活動展開を考えていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	朝、利用者の事について打ち合わせをすることはほとんどない	その日の受け入れ後に一時スタッフが集まり動きの確認を取る時間を検討する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	その日勤務でない職員も共有できるよう工夫している 実績報告をトークノートへアップし職員で情報共有 打ち合わせはないが、トークノートで情報共有はしている	社内SNSを使用しているが、情報共有が十分にできていない場合もある。共有方法の再検討を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	50%		個々の利用者によっては行っているが、事業所としては実施できていない。機会があれば実施していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	中学生の職場体験の受け入れ、地域のおまつりの参加	こども同士の交流を持てるよう検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	来所時やお迎えの時に保護者とよく話をし一人ひとりの発達について理解できるようにしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	保護者会の実施		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	家族支援記録に記載	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	クリスマス会などの参加できょうだい同士交流する機会もある	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	保護者限定の公式LINEなどで情報発信している Eメール通信の発行 何かある ごとに保護者と時間を取って面談や相談支援を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	サンクスフェスティバル・クリスマス会など地域に開かれた活動がある	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	すべての訓練はやっていないかも	マニュアルの確認、訓練の実施を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に避難訓練をしている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	75%	25%		開始前に問診にて対応している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食事は全て各家庭で用意して持って来てもらっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	不十分な点があるかもしれない	計画の確認と研修を実施する。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%			